勤通大基礎理論スクーリングin しずおか

静岡県労働者学習協会静岡支部・静岡市社会科学学習会　　２０２１.６.６　No.1

始まりました!!　科学的社会主義 基礎理論学習会

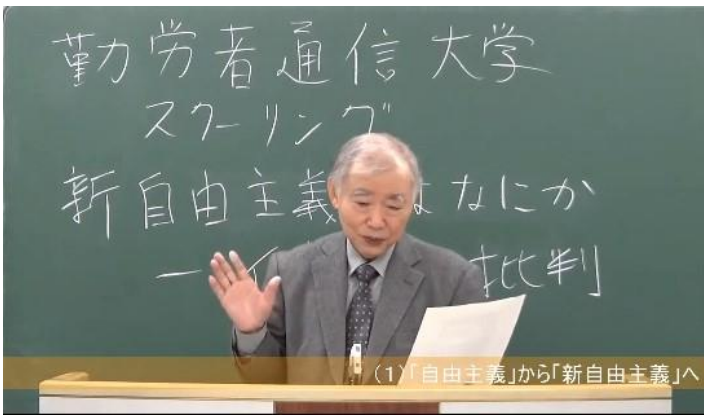
６月１日アイセル21において、勤労者通信大学基礎理論コーススクーリングの第一回学習会が開催されました。現在８名の受講希望者がありますが、今回の出席者は６名でした。

自己紹介後、今後のスクーリングの進め方を確認しました。今後は月一回（第一火曜日）一章のペースで進め、来年３月で全９章を終える計画になりました。毎回担当チューターが説明し、討論をする形式で学習会をすることとしました。

「新自由主義とは何か―イデオロギー批判」ＤＶＤを鑑賞

今回は校本に入らず、勤通大哲学教科委員の牧野広義氏の講演の DVD をメインの学習教材としました。

牧野氏の講演は、初めに「自由主義」から「新自由主義」への歴史的過程を説明した上で、新自由主義そのものの内容を明らかにしました。そして、それがもたらす結果とイデオロギー批判を紹介しました。最後に日本国憲法の条文（第13･25･97条）を引用し、新自由主義思想への最大の武器が憲法にあることを明らかにしました。



牧野広義氏の講演DVDから

参加者からの意見･感想から

○私たちのたたかいの中で勝取ってきた、労働者の権利だとかを侵害するのが新自由主義なのかなと思いました。自分は新自由主義の時代で生きてきたが、それに対して今反撃の時代なのかなと思いました。

○新自由主義がどうして出てきたのかがあまりはっきりしていなかった。これは資本主義の矛盾から

来ていると思う。ケインズ経済政策が最初はある程度うまくいっていたが、だんだん貧富に差が激しくなり、新自由主義が労働者の不満をうまく捉えて、大資本が自由に活動しもっとメリットを上げれば良くなるのだとし、労働者の一部が惑わされた。そうゆう面があるのでは。規制緩和とか、雇用の自由化、公共事業の民営化がそれだ。

〇参考にテキストの232ページ、238ページにケインズ経済政策、新自由主義についてふれているが、今後学んでいきます。

〇新自由主義と言うと悪いことでないような気がするのですが、何がいけないのでしょうか。

〇新自由主義の自由は、強い者の「自由」のこと。それを国民の間に浸透させた。イデオロギーで、例えば職場に競争させる政策を導入する。

〇大企業、富裕層への減税。企業活動の「規制緩和」。考え方としては、弱肉強食。「自己決定」と「自己責任」。小さな政府で社会保障は少なくしていく。企業の自由な活動に任せる。そういう主張をする。

〇企業の規制を取払って、儲けのためなら何をやっても良いよとする企業にとっての「自由」。

〇統治能力なしの政権をマスコミが“ヨイショ”しているので、そこが何となく見えなくなっている。日本での新自由主義を掲げている勢力は、統治能力なしだ。だから、それに代わる能力を持つ政権を作らなければいけない。それでなければ、コロナに殺されてしまう。日本は矛盾が激しくなっている。ただ、それに気が付かない状態なので、気が付いている人が頑張る必要がある。

７月からの受講でもまだ大丈夫

参加者を広げましょう!!

次回勤通大基礎理論コーススクーリング

日時　7月6日（火）　午後6時30分～8時30分

場所　アイセル21　42会議室